

令和3年6月3日
総合政策局情報政策課
交通経済統計調査室

内航船舶輸送統計月報の概要 令和3年2月分

【概要】

1. 総輸送量

総輸送量は、25,169千トン（対前年同月比10.5%減）、12,121百万トンキロ（対前年同月比14.9%減）であった。
コンテナ及びシャーシ扱いの輸送量は、それぞれ1,458千トン、722千トンであった。

2. 品目別

主要10品目は、トンベースで、対前年同月比が、砂利・砂・石材2.0%増、石灰石7.3%減、セメント16.0%減、鉄鋼2.3%減、石炭7.4%増、原油41.6%減、重油2.5%増、揮発油3.6%減、その他の石油及び石油製品10.4%減、化学薬品11.7%増であった。

トンキロベースでは、対前年同月比が、砂利・砂・石材8.8%減、石灰石14.1%減、セメント17.9%減、鉄鋼1.9%増、石炭23.2%増、原油48.5%減、重油11.7%減、揮発油4.5%減、その他の石油及び石油製品14.8%減、化学薬品6.2%減であった。

3. 燃料消費量及び航海距離

燃料消費量の合計は、176,879千リットル（対前年同月比10.5%減）であった。

また、航海距離の合計は、10,572千キロメートル（対前年同月比13.4%減）であった。

4. 輸送効率

内航船舶の合計は、41.0%であり、用途別にみると、貨物船は42.2%、油送船は38.9%であった。

※詳細については、「内航船舶輸送統計月報」を参照して下さい。

※この月報の統計数値を他に転載する場合には、必ず、「内航船舶輸送統計月報」による旨を明記して下さい。

お問い合わせ先：総合政策局情報政策課
交通経済統計調査室
横堀、中澤（内線28-743）
代表 03-5253-8111
Fax 03-5253-1567

輸送量(令和3年2月分)

単位：M/T

項 目	トン数 (千トン)	前年同月比	トンキロ (千トンキロ)	
			トンキロ	前年同月比
合 計	25,169	89.5	12,121,202	85.1
大 型 鋼 船	15,693	89.2	8,552,447	83.9
小 型 鋼 船	8,036	91.7	3,319,681	88.0
木 船	-	-	-	-
プッシャーバージ・台船	1,440	81.6	249,073	90.1
貨 物 船	15,249	88.7	7,673,010	87.7
(内コンテナ)	1,458	90.5	951,130	88.1
(内シャーシ)	722	117.6	668,058	116.5
大 型 鋼 船	9,024	89.8	4,946,493	88.4
小 型 鋼 船	6,225	87.2	2,726,517	86.5
木 船	-	-	-	-
油 送 船	8,480	92.4	4,199,118	80.4
大 型 鋼 船	6,668	88.3	3,605,954	78.4
小 型 鋼 船	1,812	111.2	593,164	95.7
木 船	-	-	-	-
プッシャーバージ・台船	1,440	81.6	249,073	90.1

主 要 10 品 目	砂利・砂・石材	1,372	102.0	376,263	91.2
	石 灰 石	2,617	92.7	952,582	85.9
	セ メ ン ト	2,352	84.0	1,219,603	82.1
	鉄 鋼	3,020	97.7	1,535,211	101.9
	石 炭	1,314	107.4	191,450	123.2
	原 油	1,185	58.4	860,868	51.5
	重 油	1,507	102.5	695,312	88.3
	揮 発 油	2,732	96.4	1,387,326	95.5
	その他の石油及び石油製品	972	89.6	441,791	85.2
	化 学 薬 品	1,688	111.7	685,558	93.8

燃料消費量及び航海距離(令和3年2月分)

項 目	燃料消費量 (千リットル)				前年同月比	航海距離 (千キロメートル)	前年同月比
	A重油	B重油	C重油	計			
合 計	70,152	-	106,727	176,879	89.5	10,572	86.6
大 型 鋼 船	28,479	-	98,397	126,876	89.8	5,069	87.8
小 型 鋼 船	39,431	-	7,879	47,310	88.7	5,358	85.6
木 船	-	-	-	-	-	-	-
プッシャーバージ・台船	2,241	-	452	2,694	88.6	145	85.8